

ため池ハザードマップ

善通寺市

避難のタイミング・自宅周辺の被災程度

熊ヶ池・地藏池

このマップは、善通寺市個別ため池ハザードマップで、全市域版を補完する「詳細版」です。

このマップに示す浸水区域等は、あくまで計算結果であり、必ずしも実際の災害でこの通りになるわけではありません。

凡 例

ため池浸水想定区域

深さ 2.0m～5.0m
深さ 1.0m～2.0m
深さ 0.5m～1.0m
深さ 0.5m 未満

浸水到達時間

1 分後
5 分後
10 分後
30 分後
60 分後

金倉川浸水想定区域

深さ 1.0m～2.0m
深さ 0.5m～1.0m
深さ 0.5m 未満

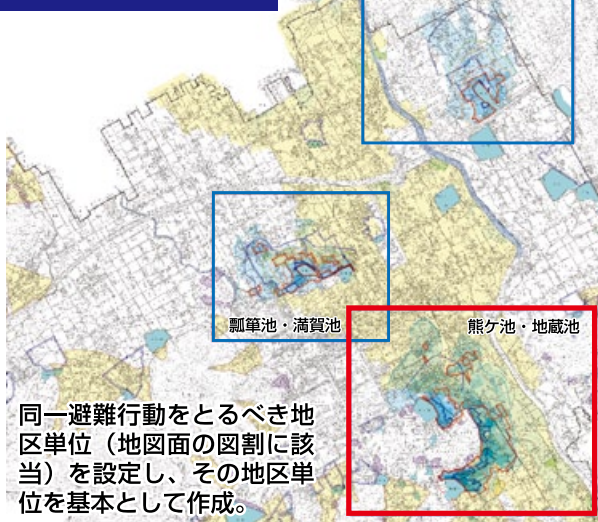
避難時活用情報

避難時注意事項
歩行避難困難区域
木造家屋倒壊危険区域
第一避難目標地点
避難所
ため池避難ビル
ため池決壊を想定した避難経路
逃げ遅れた時に身体への危険性が高い避難経路
主な避難方向

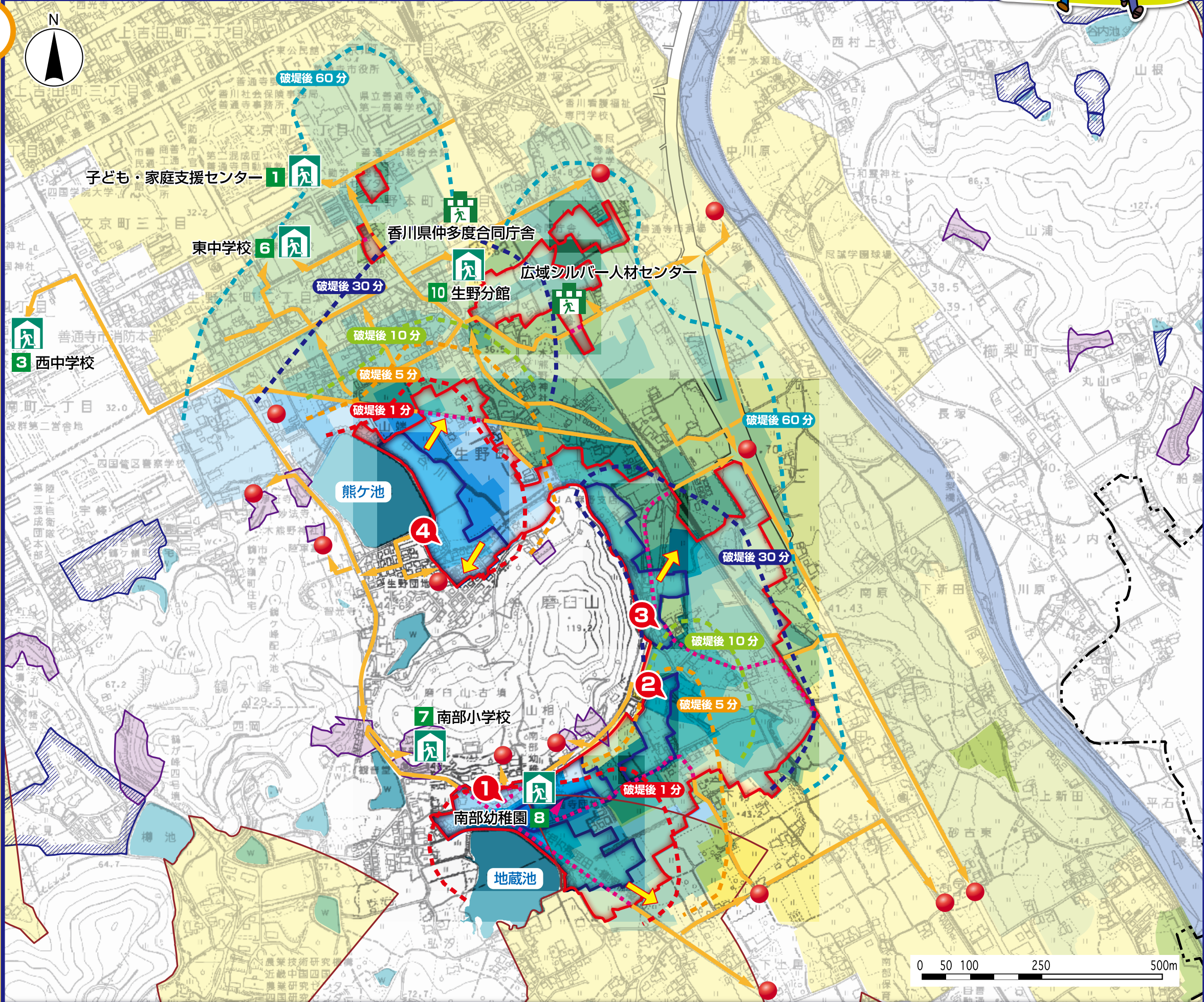
貯水量 10 万 m³ 未満のため池浸水想定区域

図解法による浸水想定区域

避難単位の設定



同一避難行動をとるべき地区単位（地図面の図割に該当）を設定し、その地区単位を基本として作成。



各地点の避難時注意事項

①

破堤後、一気に水深が深く流速も速くなり、歩行による避難が困難になります。逃げ遅れた場合は無理をせず家の2階等の上へ上がってください。建物が倒壊する可能性がある地域では、速やかに東部にある避難目標地点まで避難してください。その途中に堅牢な鉄筋コンクリート造建物等があれば、2階以上に避難してください。

②

破堤後5分で、水深が深く流速も速くなり、歩行による避難が困難になります。逃げ遅れた場合は無理をせず家の2階等の上へ上がってください。建物が倒壊する可能性がある地域では、速やかに北部の歩道橋や途中にある堅牢な建物の2階以上に避難してください。

③

破堤後10分で、水深が深く流速も速くなり、歩行による避難が困難になります。逃げ遅れた場合は無理をせず家の2階等の上へ上がってください。建物が倒壊する可能性がある地域では、速やかに東部にある歩道橋や途中の堅牢な建物の2階以上に避難してください。

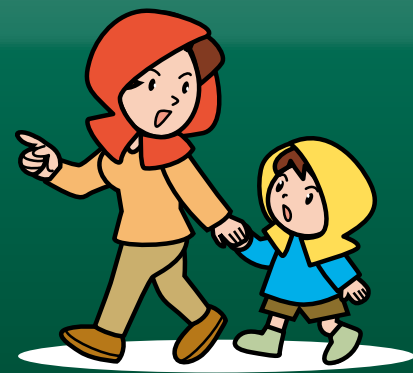
④

破堤後、一気に水深が深く流速も速くなり、歩行による避難が困難になります。逃げ遅れた場合は無理をせず家の2階等の上へ上がってください。建物が倒壊する可能性がある地域では、速やかに西部にある避難目標地点まで避難してください。

善通寺市ため池決壊緊急避難所一覧（熊ヶ池・地藏池）

登録番号	名称	住所	電話番号	ため池避難時の留意点
1	子ども・家庭支援センター	文京町 2-2-2	63-6371	1階使用不可、2階以上
2	本郷通分館	上吉田町 3-6-14	62-0722	使用不可
3	西中学校	文京町 4-1-1	62-2340	
4	中央小学校	文京町 4-5-1	62-1616	
6	東中学校	生野町 2-14-1	62-2360	体育館不可、校舎 2 階以上
7	南部小学校	生野町 2990-1	62-0702	体育館のみ
8	南部幼稚園	生野町 2880-1	63-0156	1 階使用不可、2 階以上
9	南部公民館	大森町 1306-1	62-5685	
10	生野分館	生野町 1282-2	62-2962	1 階使用不可、2 階以上

率先避難が必要な地区の洪水が到達する時間・洪水の速さと深さの変化



率先避難が必要な地区	木造家屋倒壊危険区域	歩行避難困難区域	浸水深と状況	破堤時	1 分後	5 分後	10 分後	30 分後	60 分後
①	○	○	浸水深(m) 状況	—	0.5 未満	2.0 以上	2.0 以上	2.0 以上	2.0 以上
②	○	○	浸水深(m) 状況	—	—	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 2.0	1.0 ～ 2.0	0.5 ～ 1.0
③	○	○	浸水深(m) 状況	—	—	—	0.5 未満	2.0 以上	1.0 ～ 2.0
④	○	○	浸水深(m) 状況	—	—	1.0 ～ 2.0	0.5 ～ 1.0	0.5 ～ 1.0	0.5 ～ 1.0

ため池決壊で避難が必要な住民は、避難訓練し避難のタイミングを守ることによって安全な避難が可能です。

避難のタイミング

地震発生

最初の激しい揺れは約 3 分程度

① まず、身を守る ② すばやく火の始末 ③ 非常脱出口の確保

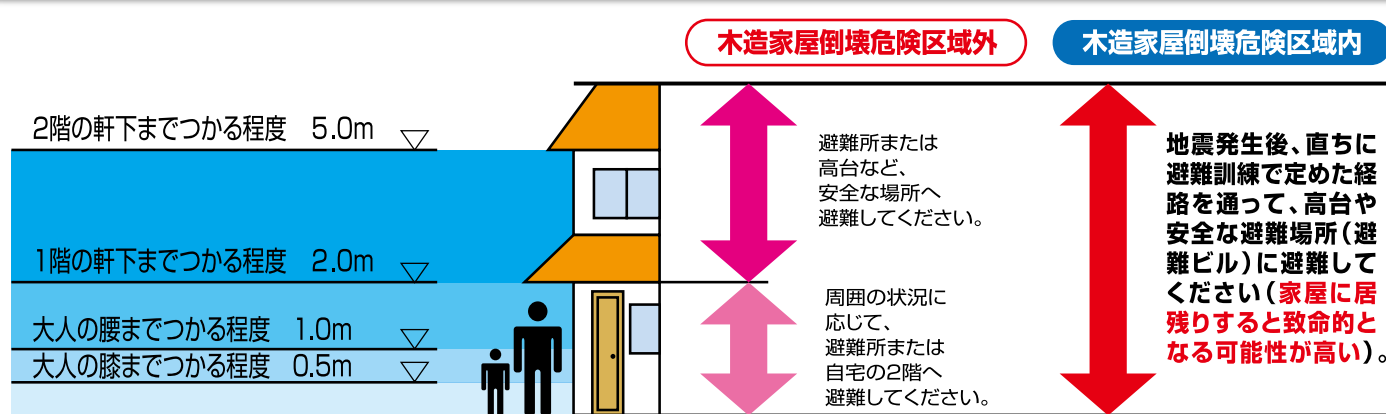
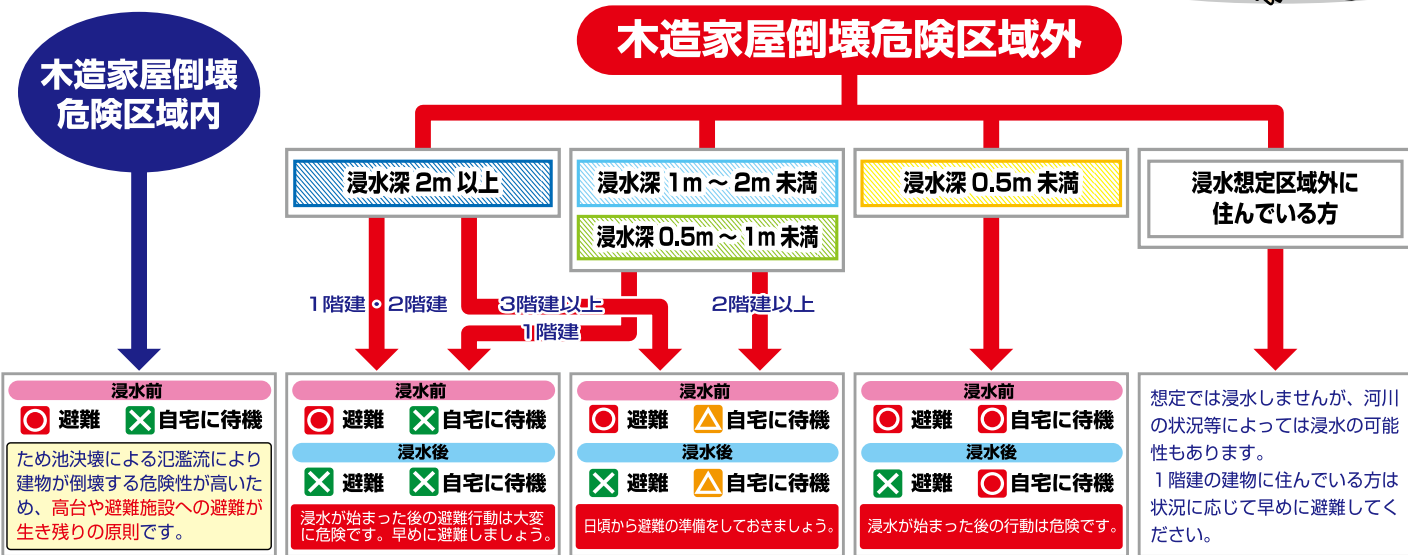
強い揺れを感じた場合には、ため池決壊の恐れがありますので自主的に避難してください。



地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域（要避難地区）

地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域（要避難地区）は、「木造家屋倒壊危険区域」とその外側にある「歩行避難困難区域」です。これらの区域で木造 1 階建てに住む方は率先して避難する必要があります。「木造家屋倒壊危険区域」に木造建物を住家に行っている方は、2 階以上に逃げても倒壊する可能性があります。速やかに安全な避難場所に避難してください。鉄筋コンクリート造りなど堅牢な建物で 2 階以上に住む方は念のために 3 階以上に一時避難してください。

木造家屋の被害程度と避難の目安



ため池が決壊してはん濫が始まった後では、避難することがかえって危険な場合があります。状況に応じた行動をとることが必要です。